

○「現状の認識と将来への足掛かりを」

京都府南山城村 高山地区連絡会議(平成30年度第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年3月6日
- 場 所: 南山城村役場 第1会議室
- 出席者: 農業委員6人、推進委員1人、事務局1人
- 報告者: 森嶋 徹 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 緩傾斜地の緑茶栽培と狭小な水田の水稲作が主流の中山間地域の農業。
- 大規模な緑茶栽培と水稲栽培を経営する専業農家が多く、小規模に水稲を栽培する兼業農家は少数派。
- 補助事業等により拡大した経営を維持できず担い手不足と後継者不足に悩む。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 補助事業の導入でほ場の整備は出来たが、中山間地で効率化や集約化は難しい。
- 大きな茶農家でも経営が難しくなっている。
- 農閑期に野菜をつくれれば、遊休化する水田の活用ができる。
- 新規就農者には大きな期待はできない。
- 家族経営だけでは、茶の経営は難しいので、外国人労働者を活用できないか。
-
-

4 活動結果

- 情報・意見交換 **2** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援